

令和6年度 入退院支援連携強化研修会（サマリー編）（案）

方 法：集合開催

形 態：講演，ロールプレイ，グループワーク

対 象 者：函館市・北斗市・七飯町の医療・介護関連従事者

目 的：その方らしい生き方を実現していくため，加齢や疾病による影響から心身の状態が変化していく本人の不安や葛藤などに寄り添い，もしもの時に本人の想いを見逃さないよう，支援に関わる一人ひとりが意識して支援することができる

目 標：・もしもの時のために本人の想いをどのようなタイミングでどのような方法で行うのかを理解する
・もしもノートを活用しながら ACP を行う際の留意点などを知る
・本人の想いを叶える支援の実現を目指し，医療・介護関係者が情報共有していく必要性を考える

テ ー マ：仮）「地域でつなげよう ACP の輪」～この地域での ACP 連携を目指して～

内 容：・もしもノートについて（概論）
・もしもノートができるまで（経緯，経過等）
・サマリーと併せた活用法・事例
・ロールプレイ
もしもノートの聞き取り実践
※聞き取り役/聞かれ役の二人一組（どちらの役も実施）
・グループワーク
もしもノートの聞き取り実践後における意見交換